

【当日のスケジュール】

13:00	開場、受付
13:30	開会の挨拶
13:35～14:10	キーノートトーク① ～「喫茶カプカプ」で生まれる関係性～ 登壇者：鈴木励滋（生活介護事業所「カプカプ」所長、演劇ライター）
14:10～14:45	キーノートトーク② ～「ココルーム」から生まれる言葉と表現～ 登壇者：上田假奈代（詩人、NPO 法人こえとことばとこころの部屋 cocoroom 代表）
14:45～14:55	休憩
14:55～15:15	パフォーマンス パフォーマー：マダム ボンジュール・ジャンジ（ドラァグクイーン）
15:15～16:15	クロストーク～「言葉」から見出す多様性～ モデレーター：藤原ちから（批評家、「orangcosong」アーティスト） 登壇者：鈴木励滋、上田假奈代、日比野克彦（TURN 監修者、アーティスト、東京芸術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
16:15～16:30	2020 年における TURN の展開 登壇者：日比野克彦、森 司（TURN プロジェクトディレクター）

【ゲストプロフィール】



鈴木励滋（すずきれいじ）

生活介護事業所「カプカプ」所長、演劇ライター。

1973 年 3 月群馬県高崎市生まれ。1997 年から現職。1998 年には横浜市旭区のひかりが丘団地商店街で「喫茶カプカプ」を、2009 年には斜向かいに「工房カプカプ」を開店。演劇に関しては『ユリイカ』、『月刊ローソンチケット』、劇団ハイバイのツアーパンフレットなどに書いている。『生きるための試行 エイブル・アートの実験』（フィルムアート社、2010 年）や『季刊ピープルズ・プラン』にも寄稿。師匠の栗原彬（政治社会学）との対談が『ソーシャルアート 障害のある人とアートで社会を変える』（学芸出版社、2016 年）に掲載された。



©村山 康文

上田假奈代（うえだかなよ）

詩人、NPO 法人こえとことばとこころの部屋 cocoroom 代表。

1969 年奈良県吉野生まれ。3 歳より詩作、17 歳から朗読を始める。1992 年から全国で詩のワークショップを手がける。2001 年「詩業家宣言」を行い、2003 年新世界フェスティバルゲートで、喫茶店のふりをしたココルームを立ち上げ、「表現と自律と仕事と社会」をテーマに社会と表現の関わりを探る。2008 年から大阪市西成区に位置する釜ヶ崎とよばれる地域で「インフォショップ・カフェ ココルーム」、2012 年に、まちを大学に見立てた「釜ヶ崎芸術大学」を開講。「ヨコハマトリエンナーレ 2014」に釜ヶ崎芸術大学として参加。2016 年春に移転し「ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム」を開く。2014 年度、文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞。



藤原ちから (ふじわらちから)

批評家、「orangcosong」アーティスト

1977年、高知生まれ。横浜を拠点に国内外の各地を移動し、アーティスト、批評家、キュレーター、ドラマトウルクとして活動。「見えない壁」によって分断された世界を繋ごうと、遊歩型ツアープロジェクト『演劇クエスト』を横浜、城崎、マニラ、デュッセルドルフ、安山、香港、東京、バンコクで展開してきた。住吉山実里と2019年にアートコレクティブorangcosongを結成し共に活動する。2017年度よりセゾン文化財団シニア・フェロー、文化庁東アジア文化交流使。



© Leslie Kee

マダム ボンジュール・ジャンジ

Female Drag Queen、パフォーマー。あらゆる境界線を超えたキラキラした世界を願い、「YES! Future」と謳い続ける。1997年より交歓のAll Mix Party「ジュシー！」を主宰。主な作品「HUG たいそう」「Living Together/STAND ALONE」他。新宿二丁目にあるHIVをはじめとするセクシャルヘルスに関する情報センター&フリースペース「コミュニティセンターakta」センター長。